

Confidential

SPORTS DATA BANK  
Sports Data Bank Group

# 学校・地域クラブ活動を中心とした 地域活性化モデル

スポーツデータバンク株式会社



## 代表取締役 石塚 大輔

Chief Executive Officer Daisuke Ishizuka

### 【役歴】

- スポーツデータバンク株式会社 代表取締役
- スポーツデータバンク沖縄株式会社 代表取締役
- 台湾思動邦有限公司 董事長兼總經理
- 一般社団法人沖縄スポーツ関連産業協会 代表理事

### 【主な委員等活動】

- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインの作成検討会議 委員 [2017年度 文部科学省・スポーツ庁]\*
- スポーツエコシステム構築推進検討委員会 委員 [2019年度 スポーツ庁]
- 沖縄スポーツ・ヘルスケア産業クラスター推進協議会 運営会議 委員 [2019~年度内閣府沖縄総合事務局]
- 地域×スポーツクラブ産業研究会 委員 [経済産業省]\*
- 沖縄県部活動等の在り方に関する方針検討委員会 [沖縄県教育委員会] \*
- スポーツ審議会スポーツ基本計画部会（第2期）[スポーツ庁]\*
- 運動部活動の地域移行に関する検討会議 委員 [スポーツ庁]\*
- 神戸市部活動の地域移行のあり方検討委員会 委員 [神戸市教育委員会] \*
- 沖縄県運動部活動の地域移行に関する検討会 委員 [沖縄県] \*
- 日野市地域連携スポーツ協議会 委員 [日野市教育委員会] \*
- 横浜市スポーツ推進審議会 委員 [横浜市教育委員会] \*
- 沖縄県総括コーディネーター（部活動の地域移行） [沖縄県教育委員会] \*

\* 学校部活動改革関係

# スポーツ・ヘルスケアビジネスで未来を創造する ビジネスプロデューサー



Research



Network



Planning

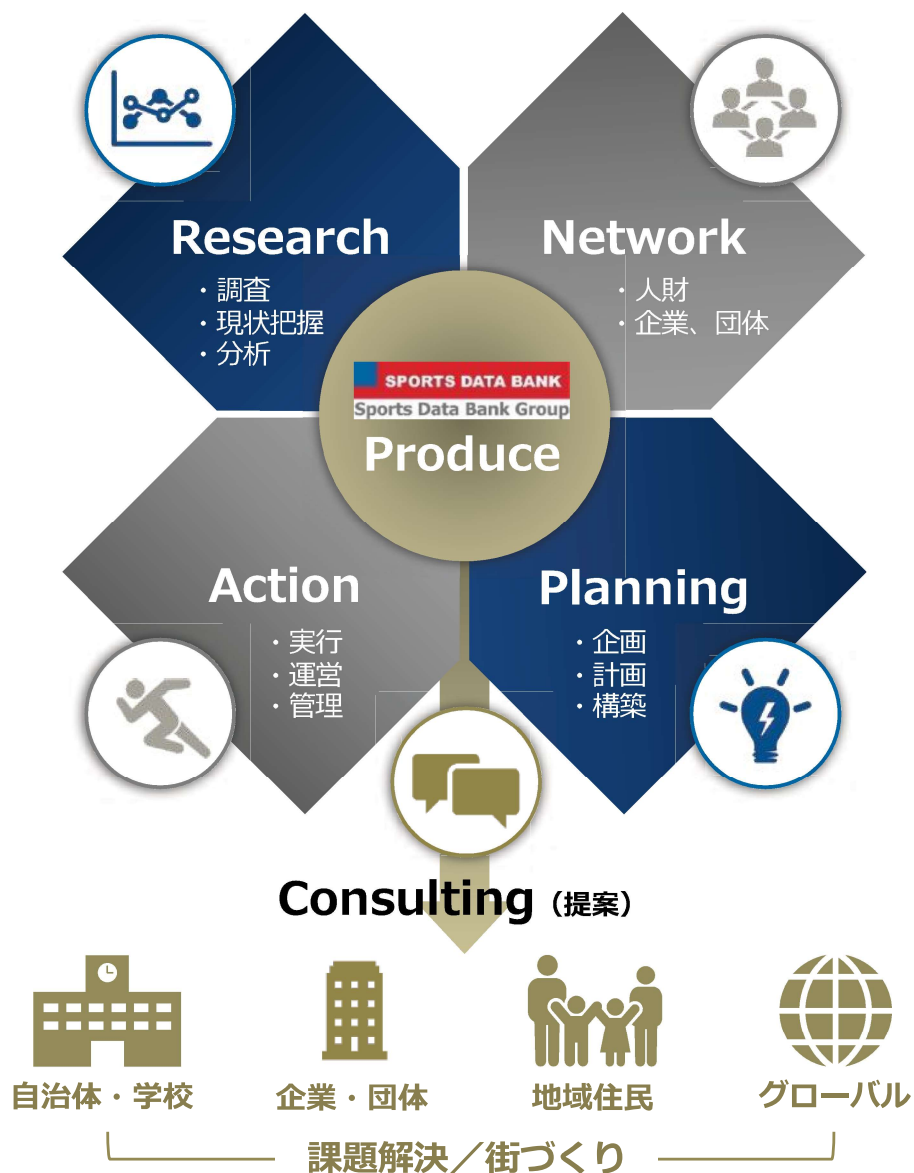


Consulting



Action

スポーツデータバンクグループは  
スポーツ・ヘルスケアビジネスで地域をつなぐ総合商社として  
国内・海外の様々な課題解決に取り組んでいます



### 学校を中心とした街づくり

全国各地の行政・自治体、学校と連携して新しい教員の働き方改革や部活動の地域移行化の推進、学校施設を活用した取り組みによる街づくりをサポート。

### ツーリズム・イベント誘致

スポーツやヘルスケアのツーリズムコンテンツの開催等やスポーツチームのキャンプ・合宿誘致による戦略策定や誘致活動をサポート。

### ヘルスケアサービスの展開

自治体や企業、医療機関等と連携した地域住民の健康増進サービスの構築、企業の健康経営®の実施などによる地域ヘルスケアサービスの展開。

### 市場調査・情報分析

スポーツ・ヘルスケア分野における地域や企業等の課題抽出や市場調査、事例調査などを実施し、クライアントにニーズに沿った分析結果を提供。

### 海外展開及び展開支援

スポーツ・ヘルスケア分野における国内コンテンツの海外輸出や国内自治体・企業と連携した海外展開支援等の実施。

## SDBの強みと役割

|       |      |      |       |
|-------|------|------|-------|
| 事務局運営 | 制度設計 | 計画策定 | 各種調査  |
| 地域事例  | 庁内調整 | 資料作成 | 補助金獲得 |

専門分野で培った10年以上のノウハウ活用

## 地域部活動に関する各種検討委員 就任実績（代表）

運動部活動の地域移行に関する検討会議 委員 [スポーツ庁]

地域×スポーツクラブ産業研究会 委員 [経済産業省]

その他 都道府県・市町村における検討委員会委員 多数

## 人材（指導者）



## 人材・指導プログラム

## 【地域指導者】

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ関係団体 等

## 【プロスポーツチーム】

アカデミー・スクールコーチ・トレーナー  
セカンドキャリア 等

## 【企業チーム・大学・団体 等】

実業団選手・コーチ・トレーナー、大学スポーツ、OBOG 等

## 指導者マッチングシステム

## 地域指導者の発掘・登録・評価

指導者プロフィールのリストを公開。  
指導者に求める要件や指導者の特徴等が確認できるサービスを提供  
(システム構築中)

## ICT・DX



## 指導の効率化・データ分析

## 遠隔指導による効率化

・デジタル遠隔指導  
・学校体育施設のICT化による利便性の向上 等

## データ取得による分析

・データ取得による総合トレーニングプログラム（処方）の提供等  
\* 傷害予防、フィジカル

## コンディショニング管理

・データ蓄積とモニタリングによるコンディショニングの可視化 等

## 財源



## 資金調達の仕事・手段

企業版ふるさと納税

企業協賛・スポンサード

クラウドファンディング

体育施設における事業展開

## クラブ運営管理



## クラブ運営管理システム

## 安全な運営基盤の開発・提供

クラブ情報・評価、出欠登録、活動実績、決済機能、スポンサー  
広告などをプラットフォームで一元化管理。

## 安全管理



## 指導者研修・認証制度

## 安心安全な指導・指導者の質向上、保証制度尾の導入

指導者研修（認証プログラム）として、技術指導以外に必要な知識  
習得を促すeラーニングの学習環境を提供。指導者の資質向上による  
クラブ&指導者評価・認証制度を整える。

## 施設管理



## 学校体育施設の活用

## 予約管理システム

公共施設の予約システム、使用料  
のキャッシュレス 等

## 指定管理・運営

学校体育施設の指定管理制度  
の民間委任による運営地域クラブ活動推進  
総合プラットフォームSPORTS DATA BANK  
Sports Data Bank Group

当社（グループ含む）では、2010年から東京都杉並区への民間連携による部活動支援事業をはじめ、これまで自治体と連携した学校部活動の地域移行に関する事業等を受託し、各地域において実施。

（以下、一部事業実績）

#### ● 学校部活動の地域移行に関する事業

| 年度       | 事業名                        | 契約先  | 事業内容  |
|----------|----------------------------|--|---|
| R5       | 地域クラブ活動推進事業<br>（地域部活動推進事業） | 東京都日野市<br>埼玉県白岡市<br>岐阜県大垣市<br>名古屋市<br>沖縄県うるま市<br>沖縄県宜野座村 他 | 令和4年度に続き、地域クラブ活動の推進にかかる仕組み構築や地域クラブ活動の運営管理を実施。左記地域の他、複数の地域において現在推進及び持続可能な設計に向けた事業を展開。  |
| R4<br>R3 | 地域部活動推進事業                  | 東京都日野市<br>埼玉県白岡市<br>大阪府泉大津市<br>沖縄県うるま市<br>沖縄県糸満市 他         | スポーツ庁が推進している学校部活動の地域移行に向けた事業において地域クラブ活動の設置及び運営管理を実施。その他、学校体育施設活用の可能性や鍵の管理等における課題の抽出を実施。                                     |
| R4<br>R3 | 「未来の教室」実証事業                | 経済産業省<br><br><実証・連携地域><br>東京都日野市<br>大阪府箕面市<br>沖縄県うるま市      | 経済産業省が推進している学校部活動の地域移行に向けたフィージビリティ調査及び地域クラブ自走化に向けた実証事業において、市内中学校への地域スポーツクラブの設置を行うとともに、課題抽出と解決策の整理、学校体育施設の有効活用（資金循環）等について検討。 |

#### ● 学校部活動支援

| 年度  | 事業名        | 契約先             | 事業内容  |
|-----|------------|-----------------|---|
| ～R5 | 流山市部活動支援事業 | 千葉県<br>流山市教育委員会 | 市内中学校部活動における運営委託として4年以上実施し、市内教員の意識改革等を含めた事業を展開。       |
| ～R5 | 部活動支援事業    | 各私立学校           | 埼玉県、東京都、兵庫県、京都府等の私学と連携し、部活動指導員のマッチングと運営委託による部活動支援を実施。 |

#### ● スポーツ実施率向上・スポーツ環境整備に関する事業

| 年度       | 事業名                                       | 契約先   | 事業内容   |
|----------|---|---|--|
| R4<br>R3 | Sports in Life推進プロジェクト                    | スポーツ庁<br><br><実証・連携地域><br>北海道登別市<br>北海道富良野市<br>東京都日野市<br>大阪府泉大津市<br>沖縄県うるま市<br>沖縄県糸満市 | 国民のスポーツ実施を妨げている要因の解決に向けた実証実験。中学生向けの実施率向上に向けた取り組みとして、学校部活動への支援や体育等を活用したスポーツ指導の実施を行った。 |
| R4<br>R3 | スポーツスペース・ボーダーレスプロジェクト<br>*学校体育施設の有効活用促進事業 | スポーツ庁<br><br><実証・連携地域><br>沖縄県うるま市   | ICTを活用した学校体育施設の有効活用の検討及び実証を行った。学校体育施設の開放に向けて教育委員会による合意形成を図ることができた。                   |
| ～R5      | うるま市スポーツ力向上促進事業                           | 沖縄県うるま市<br>教育委員会  | 市内中学校の部活動における教員の負担軽減、生徒のスポーツ実施率の向上を目的とした外部人材活用による部活動支援を実施している。（市内9校27部活動導入）          |

#### Check!

- ✓ 学校部活動の地域移行や地域スポーツ環境の構築・整備に向けて自治体・学校と連携を図り、**事前の調査・分析から制度設計（企画検討）等を行い長期的な連携支援**を実施。
- ✓ 必要な検討委員会や協議会（連絡会・有識者会議・勉強会）等を設置・事務局運営を行うとともに、**各種調査・ロードマップ（事業推進計画）の作成**なども行っている。

# 01

## 学校・地域クラブ活動を中心とした 地域活性化モデル

～自治体の取り組み事例～

①沖縄県うるま市 ②東京都日野市 ③埼玉県白岡市

---

## ～自治体の取り組み事例～

①沖縄県うるま市 ②東京都日野市 ③埼玉県白岡市

---



## 連携指導者拡大（県内各種スポーツ団体）



- ✓ 外部指導者の配置
- ✓ 財源確保の検討等

## 事業拡大と自走化の検討

市内9校 20部活動

- ✓ 外部指導者の配置
- ✓ 体育施設有効活用の課題抽出
- ✓ 自走化に向けた財源確保の検証
- ✓ 企業版ふるさと納税の実施



## 地域クラブ活動の推進に向けた取組

市内9校 27部活動

- ✓ 地域移行推進計画の作成
- ✓ 学校体育施設の指定管理制度の検討
- ✓ 企業版ふるさと納税×PFSの仕組み導入



2017年度

2018年度

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度



## 部活動改革スタート



市内2校 6部活動

- ✓ 外部指導者の配置
- ✓ 財源確保の検討等

## 部活動支援/スポーツ啓蒙活動



市内7校 14部活動

- ✓ 外部指導者の配置
- ✓ 企業協賛型の検討

## 自走化への挑戦

市内9校 27部活動

- ✓ 外部指導者の配置
- ✓ ICTツール活用による施設予約や鍵の管理等の実証
- ✓ 自走化に向けた財源確保の実証
- ✓ 企業協賛・アクティベーションの活用
- ✓ 企業版ふるさと納税の活用



うるま市では、2017年度から学校部活動の改革に取り組んでいる



## 部活動への指導者配置



学校部活動に対し外部指導者の  
マッチング及び指導の実施



## スポーツ啓発活動



専門家によるスポーツ教室や  
講演会、シンポジウムの開催



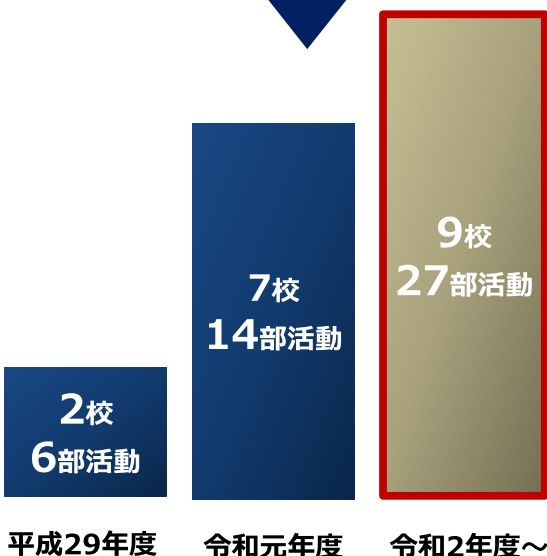
## オンラインコンテンツ



Withコロナによるオンライン  
指導コンテンツの提供

うるま市中学校 10校中 (離島含む)

9校への導入



プロスポーツチーム・地域指導者（実業団含む）等の外部指導者の配置

<プロスポーツチームの主な連携先>

- FC琉球 ● 琉球ブルファイブ ● 琉球アスティータ ● 琉球コラソン

財源の確保に向けた企業版ふるさと納税、企業協賛における取り組み

- ✓ 企業版ふるさと納税の導入と活用（実績：約1,500万歳入\*市として〔令和3年度〕）
- ✓ 当社、三井住友海上火災保険（株）との三者連携協定による事業支援
  - 指導者の資質向上に資する学習コンテンツ（e-Learning）の提供 等

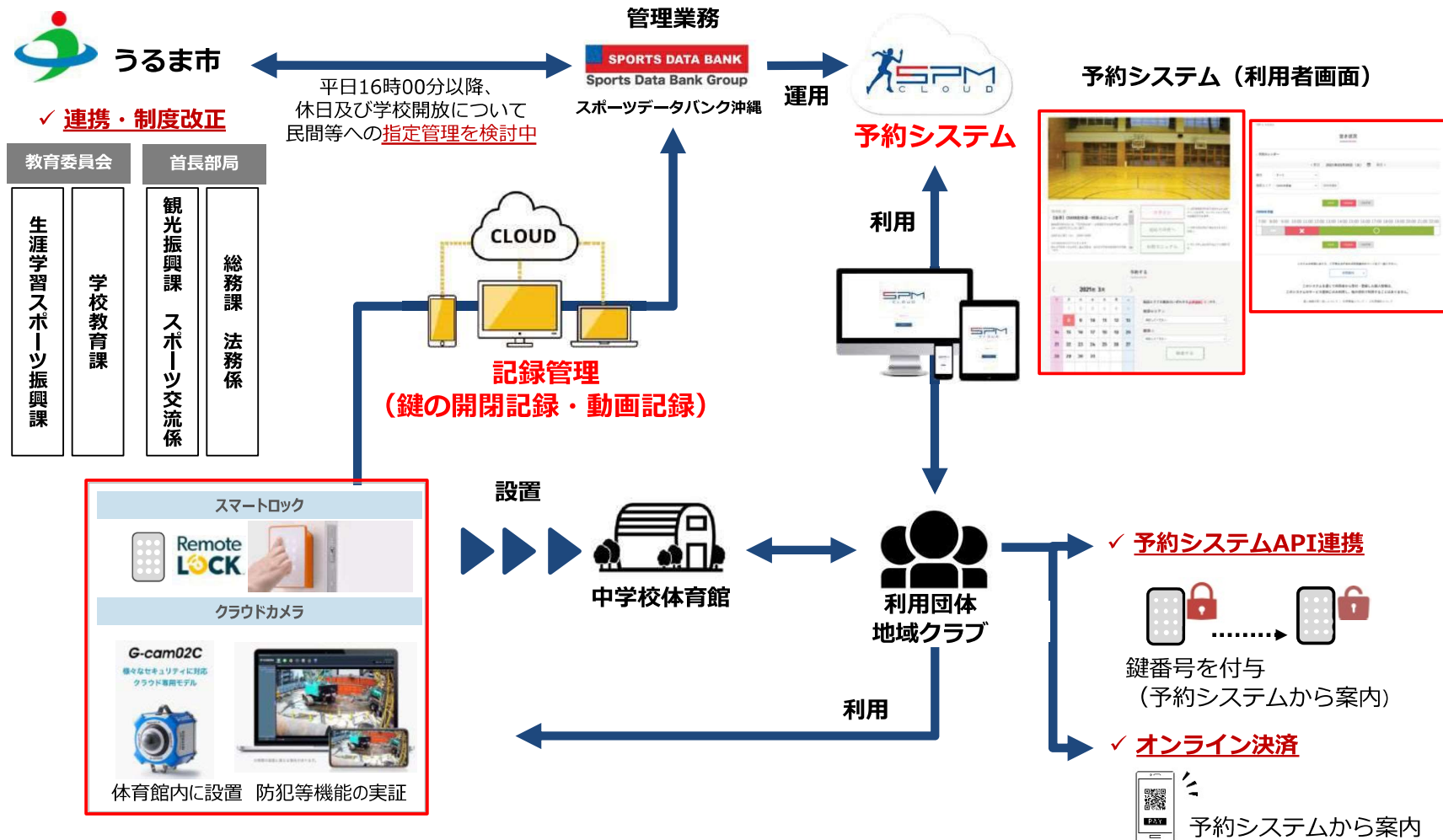
学校体育施設の有効活用に係る指定管理者制度の導入に向けた試み

- ✓ 民間等による指定管理者制度の運用に向けた条例・規則等の整理

地域移行推進計画の策定

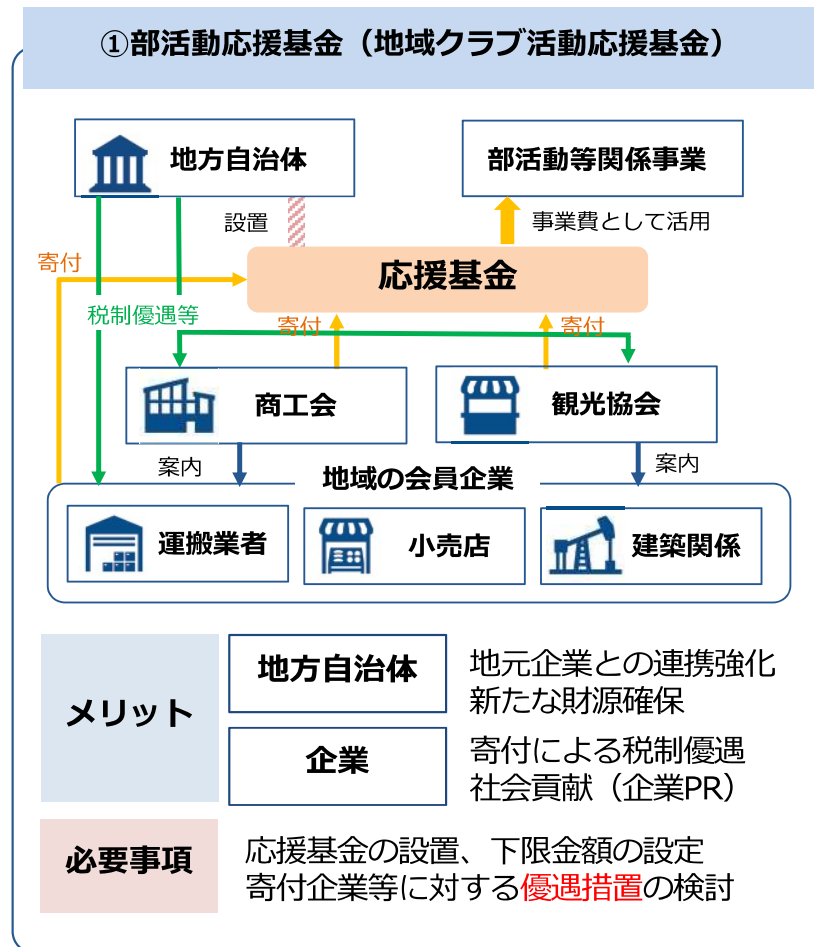
- ✓ **令和5年4月策定**
- ✓ **本計画を基に地域クラブ活動の運営、地域スポーツ環境整備を推進**

～ICTツールの活用による“管理効率の向上”と“利用者の利便性向上”～



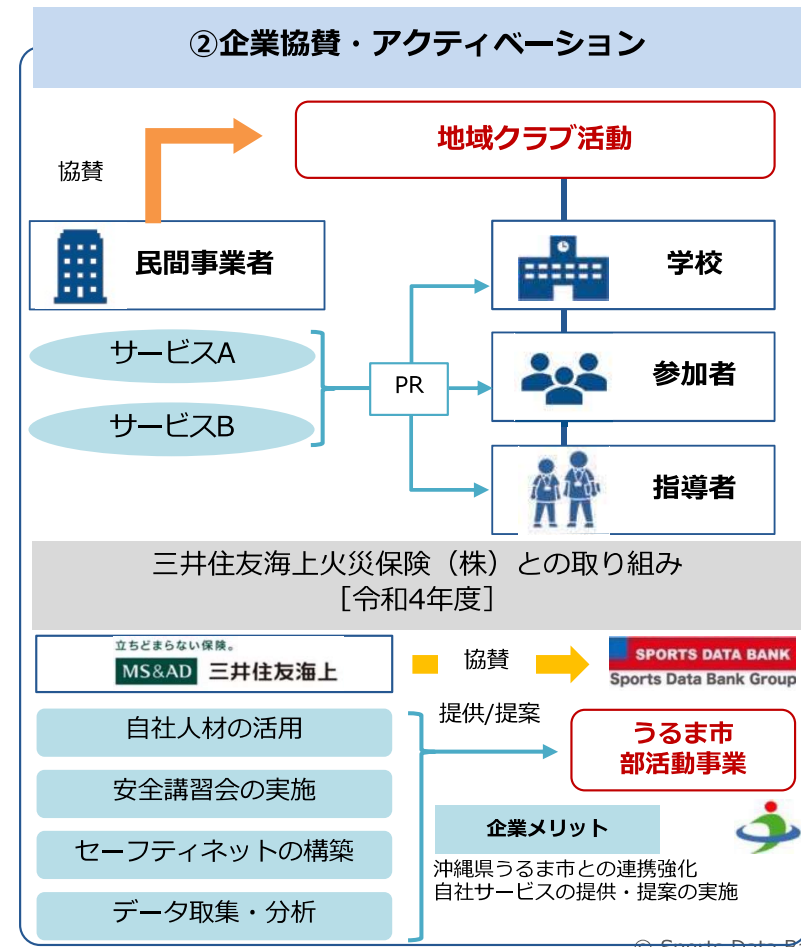
① 部活動応援基金（地域クラブ活動応援基金）

地元企業であり、業種により直接的な企業メリットを得ることが難しい場合に有効的。



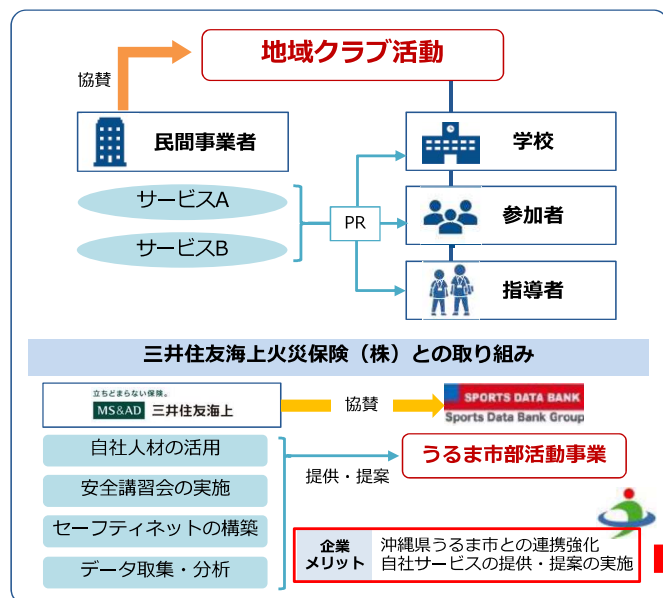
② 企業協賛・アクティベーション

企業が直接生徒に対してのダイレクトマーケティングができ、直接的な事業連携がしやすい方法。



## 指導者向けの教育・認証制度の構築

## 企業協賛



～持続可能な部活動の環境整備に向けた部活動の地域移行に関する支援について三者連携協定を締結～ 令和4年9月29日



うるま市教育委員会（教育長：嘉手刈 弘美）とスポーツデータバンク沖縄株式会社（代表取締役：石塚 大輔）及び三井住友海上火災保険株式会社（沖縄支店長：中野 昇）

- ✓ 三井住友海上から協賛を受け、うるま市が推進する地域クラブ化に関する事業に対して**指導者向け講習・認証制度**や**指導者の賠償保険等**の構築サービスの提供等を行う
- ✓ 地域課題に対して、企業が有するノウハウを使った新規サービスの開発及び提案、導入ができ、直接対象者（学校・生徒・指導者等）へサービスの提供ができる
- ✓ サービスの付加価値をさらに向上させることができ、そのサービスを横展開することで、より多くの地域での課題解決につながる取り組みとなる

## ＜指導者向け教育・認証制度＞

- (1) 自然災害への対応
- (2) 救急蘇生法
- (3) 防犯
- (4) コンプライアンスの重要性とハラスメント防止
- (5) 子どものメンタルヘルス不調と対応
- (6) 個人情報の取り扱い
- (7) ケガ予防 \* 講習会の実施形式

"全国初"

\* 三井住友海上陸上部所属  
渋井陽子氏によるケガ予防に関する講習会実施

## ＜e-Learning受講＞



## ＜自社人材の活用＞



学校部活動の地域移行に向けて、新たな地域クラブ活動の運営に関する**市の考え方として指針を示した**、「うるま市の中学校運動部活動 地域移行推進計画（令和5（2023）年）」を策定



うるま市の中学校運動部活動  
地域移行推進計画

（初版）

沖縄県うるま市教育委員会  
令和5（2023）年4月

#### \* 主な推進計画 \*

- うるま市の地域クラブ活動について
- 地域クラブ活動における適切な運営等について
- 地域クラブ活動の指導者について
- 地域クラブ活動における学校との連携について
- 安全管理及び事故防止等について
- 大会の在り方について
- 地域クラブ活動への支援 等



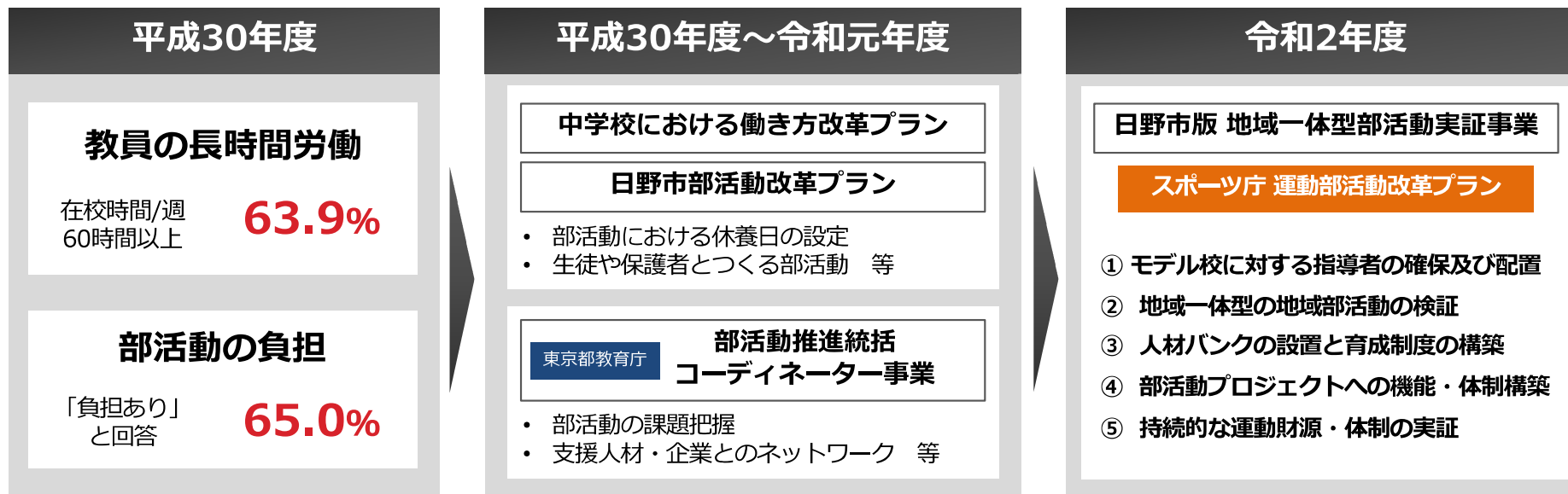
**2023年度から本計画を地域クラブ活動の運営指針として、本格始動を図る**

---

## ～自治体の取り組み事例～

①沖縄県うるま市 ②東京都日野市 ③埼玉県白岡市

---



## 令和3年度の取り組み

## 日野市 地域部活動推進事業

## スポーツ庁 地域部活動推進事業



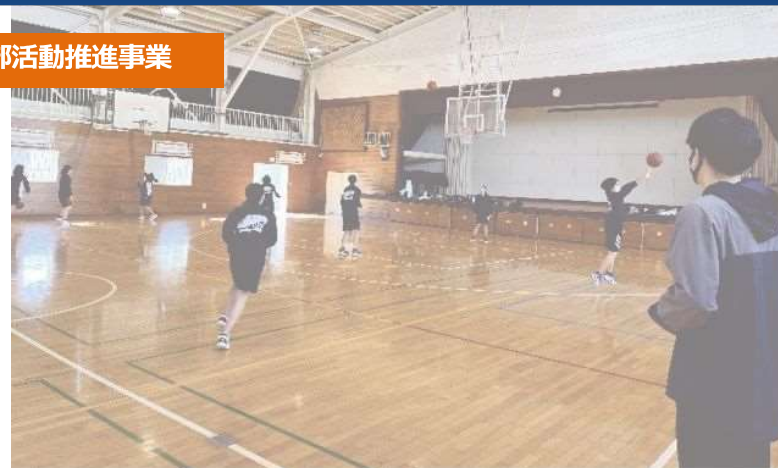
地域企業・市民等と融合した指導者不足の解消



地域と一体となった新しい部活動の創設による  
顧問教員の負担軽減及び合理的な指導の実施

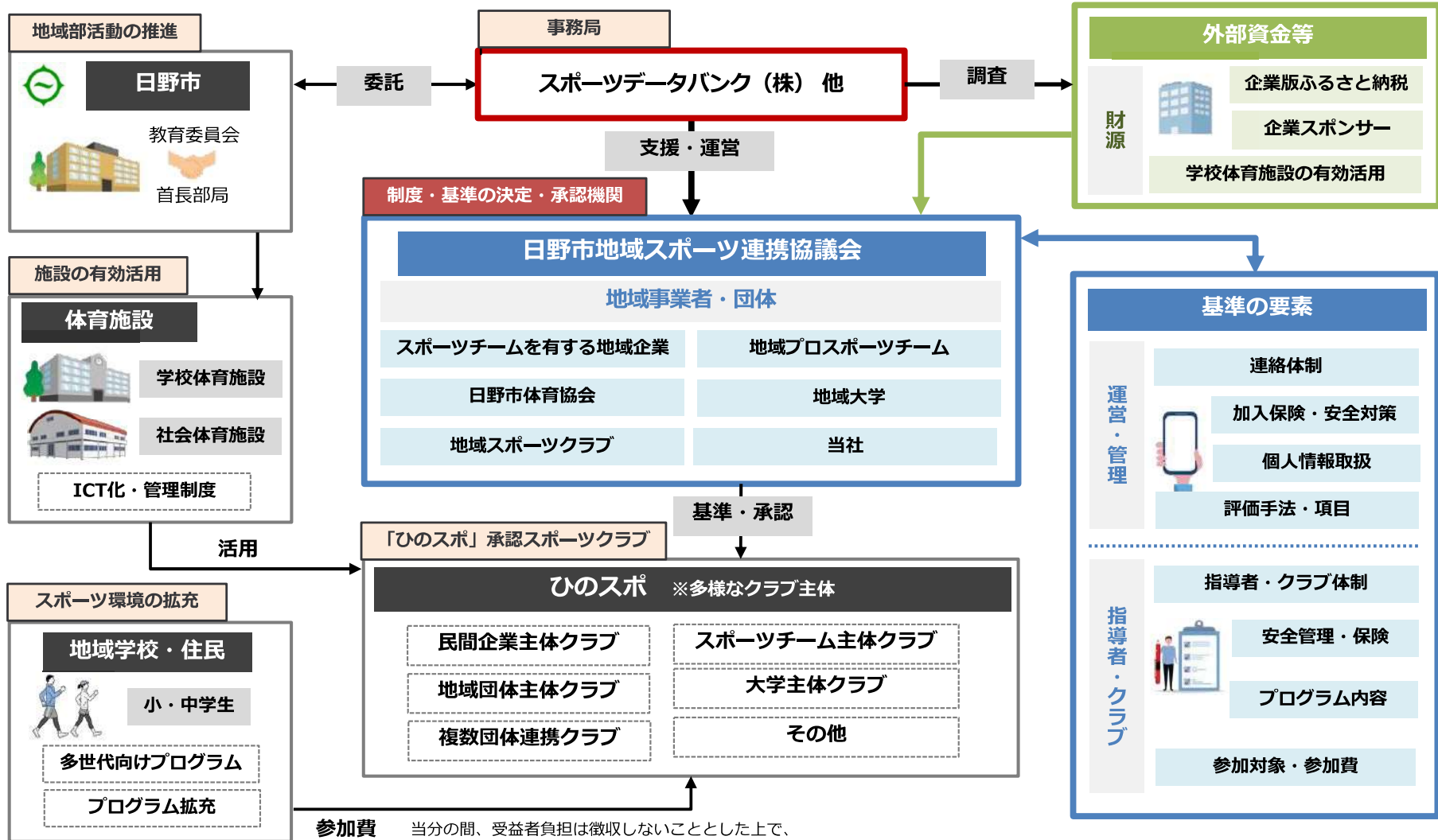


持続可能な地域部活動のモデルづくり





● 日野市地域スポーツ連携協議会を中心とした体制構築イメージ



参加費 当分の間、受益者負担は徴収しないこととした上で、令和5年度以降の持続可能な運営・実施の在り方について検証。



GOALS  
目標と目的

みんなで新しい選択肢(ひのスポ!)を通じて  
スポーツをアクセシブルなものにすること。

1

学校単位ではなく地域単位



2

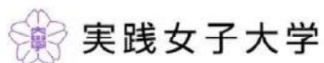
地元企業や地域の団体と連携



3

市内の様々な施設を活用

日野市地域スポーツ連携協議会



令和4年度 日野市地域部活動推進事業（スポーツ庁 委託事業）

## コニカミノルタ スポーツアカデミー

『走る』を楽しもう！『スポーツ』をもっと楽しもう！ KONICA MINOLTA

「走ることは苦手だけど、楽しく身体を動かしたい！」  
「普段は陸上部ではないけれど、正しい『走り方』を学びたい！」参加費：無料  
会場：主に三沢中学校 校庭  
定員：20名程度※申込多数の場合は抽選  
対象：市立中学校在籍生徒（1～3年生）

もちろん陸上部所属生徒さんも大歓迎！



## アカデミーの参加に関するお願い

- 往復の移動は、徒歩または公共交通機関をご利用ください。
- 服装は運動しやすい服装を各自でご準備ください。
- 水分補給に必要な飲み物などは各自でご準備ください。

※ 上記は予定のため変更となる場合もございます

## 活動予定

| 回数 | 日時                        |
|----|---------------------------|
| 1  | 2022年10月22日（土）15:00～17:00 |
| 2  | 2022年10月29日（土）15:00～17:00 |
| 3  | 2022年11月5日（土）15:00～17:00  |
| 4  | 2022年11月12日（土）15:00～17:00 |
| 5  | 2022年11月19日（土）15:00～17:00 |
| 6  | 2022年12月3日（土）15:00～17:00  |
| 7  | 2022年12月10日（土）15:00～17:00 |

## プログラム監修・指導

コニカミノルタ陸上競技部 現役コーチによるプログラム監修・指導を行います！

\* 私たちが担当します！ \*

おざわ さくお  
小澤 希久雄 コーチ

KONICA MINOLTA

たにがわ ともひろ  
谷川 智浩コーチ

## お申込み方法



\* 参加申込フォーム \*

参加の希望の方は、  
左記QRコードから  
必要情報を登録ください

申込期限：2022年9月30日（金）

## お申込み注意事項

※必ずご確認ください

- ① 本活動は『日野市における部活動に関する方針』が示す通り、週2日以上休むことを推奨しております。
- ② 応募者多数の場合は抽選となります。
- ③ 活動日・会場は予定です。変更となる場合がありますのでご了承ください。

申込 → 参加決定 → 参加者説明会 → 活動開始

～9/30      ～10/7      10/15（予定）      10/22（予定）

## 【お問い合わせ】

右記の問合せフォームよりご連絡ください。  
事務局よりご返答・ご案内をいたします。

## ● 事業趣旨・目的

令和4年度は行政機関以外の運営団体の発掘・設立支援・連携等を実施する。本市、部活動プロジェクト立ち上げ当初より、連携を行っている地域企業のコニカミノルタ（株）が新設を予定したスポーツクラブアカデミーによる地域部活動の運営モデルを実証を行なっている。

## ● 事業趣旨・目的

- 運営事業者：スポーツデータバンク（株）
- 指導者：コニカミノルタ（株）
- 対象：本市内全中学校在籍生徒
- 会場：市立三沢中学校・コニカミノルタ運動施設
- 期間：10月22日（土）～（全7回） 1回2時間
- 費用負担：なし
- 参加人数：33名（募集終了）



## ● キックオフイベント

|             |  |       |       |            |            |
|-------------|--|-------|-------|------------|------------|
| 目的          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 取組みを広く市民へ周知するお披露目イベント</li> <li>・ 令和5年度以降のプログラムや取組みの周知<br/>(令和5年度 1回/月 ・ 令和6年度 2回/月 を計画)</li> </ul>    |       |       |            |            |
| 開催日時        | 2023年1月21日(土) 13:00~17:00  |       |       |            |            |
| 開催場所        | 日野市立南平体育館 (アリーナ・多目的室など)  |       |       |            |            |
| 参加者<br>(結果) | <table border="0"> <tr> <td>最終応募者</td> <td>最終参加者</td> </tr> <tr> <td><b>55名</b></td> <td><b>43名</b></td> </tr> </table> <p>※内訳はアンケート結果にて記載</p> | 最終応募者 | 最終参加者 | <b>55名</b> | <b>43名</b> |
| 最終応募者       | 最終参加者  |       |       |            |            |
| <b>55名</b>  | <b>43名</b>   |       |       |            |            |
| アンケート       | <p>参加者回答率 (当日用紙記入)<br/><b>100% (43/43名)</b></p> <p>保護者回答率 (Googleフォーム)<br/><b>67% (29/43名)</b></p>   |       |       |            |            |

## ● 令和5年度 ひのスポ！卓球アカデミー（募集・結果）

|   |                       |
|---|-----------------------|
|  | 連携先<br><b>日野市卓球連盟</b> |
| 実施場所  | 平山中学校・体育館             |
| 実施種目  | 卓球                    |
| 指導者   | 日野キングフィッシャーズ          |
| 実施日時  | 毎週土曜16:00~18:00       |
| 実施期間  | 8月末~3ヶ月間              |
| 対象  | 市内全8校の生徒              |

定員 **35名** 応募 **50名**

募集終了後・抽選

参加者  
**41名**

初回：6月3日（土）16:00~



**2023 6.31 - 8.26 OPEN FOR ENTRIES!!**

実施種目：卓球  
指導者：日野キングフィッシャーズ（日野自動車・卓球部）  
実施期間：2023年6月~8月末  
申込期限：2023年5月10日（水）

実施場所：平山中学校  
参加対象：日野市立中学校 生徒（1年生~3年生）※初心者歓迎  
参加費：無料 定員 35名

日野市とつながるスポーツチーム、企業と連携!!  
ひのスポ！紹介動画  
主催/日野市教育委員会  
事務局/スポーツデータバンク  
指導/日野キングフィッシャーズ

日野市にしかない新しいスポーツを共に体験しませんか？

ひのスポ！では、本当の「スポーツの魅力」を知っている指導者が、ほんとうの「スポーツの楽しさ」を伝えてくれます！日野市だけで行われている、この機会にぜひご参加ください。

5/15(水) 16:00~18:00 申込受付（保護者説明会開催場所：平山中学校）  
申込受付～8/31(水)迄は、日野市市民センター2階202号室

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 第1回 | 6月3日（土）16:00~18:00  |
| 第2回 | 6月10日（土）16:00~18:00 |
| 第3回 | 6月17日（土）16:00~18:00 |
| 第4回 | 7月8日（土）16:00~18:00  |
| 第5回 | 7月15日（土）16:00~18:00 |
| 第6回 | 7月22日（土）16:00~18:00 |
| 第7回 | 8月5日（土）16:00~18:00  |
| 第8回 | 8月19日（土）16:00~18:00 |
| 第9回 | 8月26日（土）16:00~18:00 |

申込方法  
※申込フォームより必要情報をご入力いただき、お申し込みください。  
①お申し込みの目的やご参加の理由を必ずお書きください。  
②必ず、お申し込みの住所を明記することをお願いたします。  
③お申し込みの年齢を必ずお書きください。  
④お申し込みの電話番号を必ずお書きください。  
⑤お申し込みのメールアドレスを必ずお書きください。  
⑥お申し込みの性別を必ずお書きください。

お申し込み期間  
5/15(水) 16:00~18:00

保護者説明会 5月13日(土)@平山中・調理室

保護者説明会 5月13日(土)@平山中・調理室



## ● 令和5年度 ひのスポ！アカデミー（その他）

日野市ソフトテニス連盟  
みんなで作る新しい選択肢!

**ひのスポ! START DASH**

ひのスポ!で新しい仲間を作り、  
仲間と一緒にソフトテニスの楽しさを  
知ることができます!

2023 7.9 SUN - 9.17 SUN OPEN FOR ENTRIES!!

**SCHEDULE**

実施種目：ソフトテニス  
指導者：日野市ソフトテニス連盟  
実施期間：2023年7月上旬～9月中旬  
申込期限：**6月14日(水)**

**DETAILS**

実施場所：日野市立日野第一中学校  
参加対象：市内全中学校生徒（1年生～3年生）※初心者歓迎  
参加費：無料  
定員：ベーシック（初級）25名、アドバンス（上級）35名

日野市とゆかりのある  
スポーツチーム・企業と連携!!

ひのスポ! 紹介動画

主催/日野市教育委員会  
事務局/スポーツデータバンク  
指導/日野市ソフトテニス連盟

東京八王子ビートレインズバスケボールアカデミー  
みんなで作る新しい選択肢!

**ひのスポ! START DASH**

ひのスポ!で新しい仲間を作り、  
仲間と一緒にバスケットボールの楽しさを  
知ることができます!

2023 7.16 SUN - 9.3 SUN OPEN FOR ENTRIES!!

**SCHEDULE**

実施種目：バスケットボール（5人制）  
指導者：東京八王子ビートレインズ  
（株式会社THTマネジメント）  
実施期間：2023年7月中旬～9月上旬  
申込期限：**6月28日(水)**

**DETAILS**

実施場所：日野市立日野第三中学校  
参加対象：市立全中学校男子生徒 ※初心者歓迎  
参加費：無料  
定員：ベーシック（初級）20名、アドバンス（上級）20名

日野市とゆかりのある  
スポーツチーム・企業と連携!!

ひのスポ! 紹介動画

主催/日野市教育委員会  
事務局/スポーツデータバンク  
指導/東京八王子ビートレインズ

**Check!**

地域によって実情は異なるが、自治体同士の情報共有・連携を行うことは、新たな視点や取り組みのヒント（地域における持続的可能なスポーツ環境の構築に向けたアプローチ手法（庁内連携の強化・地域ステークホルダーとの連携強化等））が得られる好機である。

当社が連携している沖縄県うるま市と東京都日野市は、先進地域として教育長と実務担当者を交えたWeb対談を実施。うるま市における財源確保の取り組みや日野市における「ひのスポ」の概念など双方のよりよいスポーツ環境の整備に必要な要素について、意見交換を行った。

**【沖縄県うるま市教育委員会×東京都日野市教育委員会 Web意見交換会の実施の様子】**

---

## ～自治体の取り組み事例～

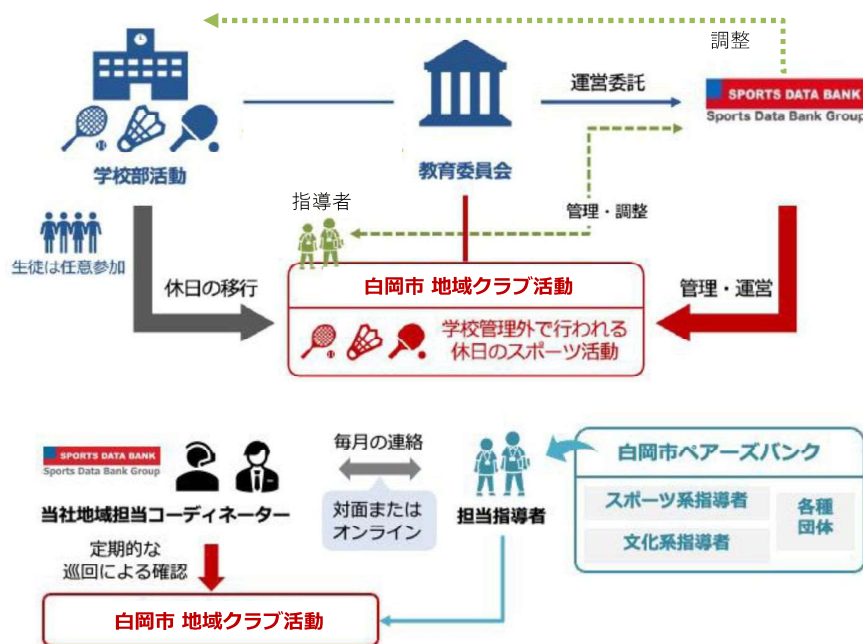
①沖縄県うるま市 ②東京都日野市 ③埼玉県白岡市

---



令和4年度、白岡市では10部活動（運動部9、文化部1）と合同部活動（ダンス/プログラミング 他）を実施。白岡市内の地域人材のみならず近隣の地域指導者とも連携し、指導者は白岡市の人材バンク「**白岡市ペアーズバンク**」に登録の上、地域クラブ活動の指導に当たっている。

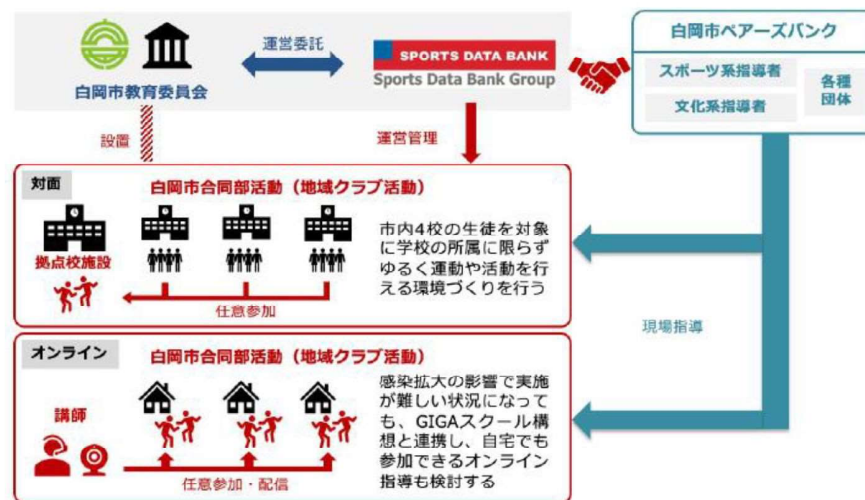
### 地域クラブ活動の実施イメージ



### 白岡市 地域クラブ活動指導者

久喜市（地元テニスクラブコーチ）  
上尾市（元実業団チーム）  
さいたま市（元プロバスケットボール選手） 他

### 合同部活動の実施イメージ

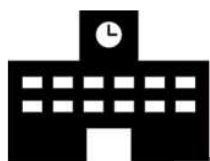
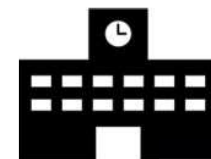


### 次年度以降の主な検討事項

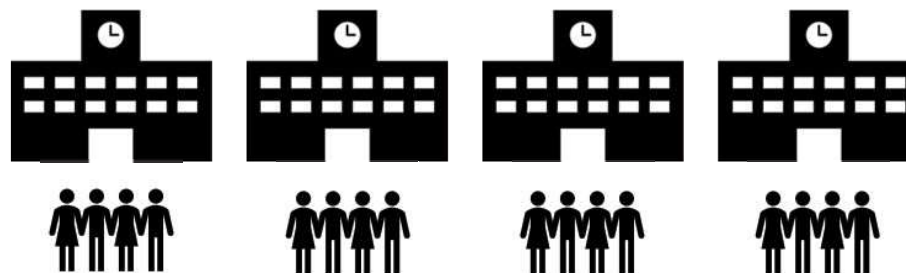
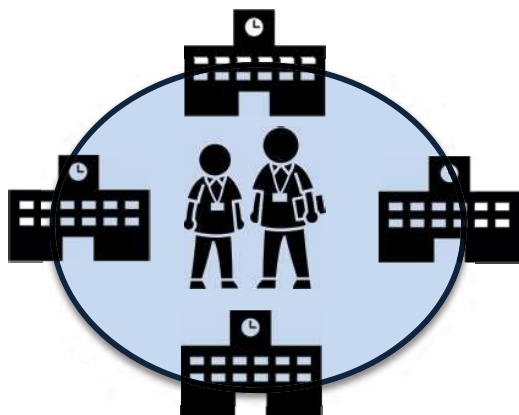
- 希望する教員に関しては兼職・兼業による地域クラブ活動の指導者としての活用を検討中
- 地元企業等との連携による支援（クラブ用品の提供等）、スポンサー獲得

## 地域クラブ活動の実施

## 運動部活動

ソフトテニス部・バスケットボール部・卓球部・  
ソフトボール部・陸上部菁莪中学校/  
ソフトテニス部/バスケットボール部/卓球部南中学校  
陸上部/ソフトボール部/ソフトテニス部/  
卓球部

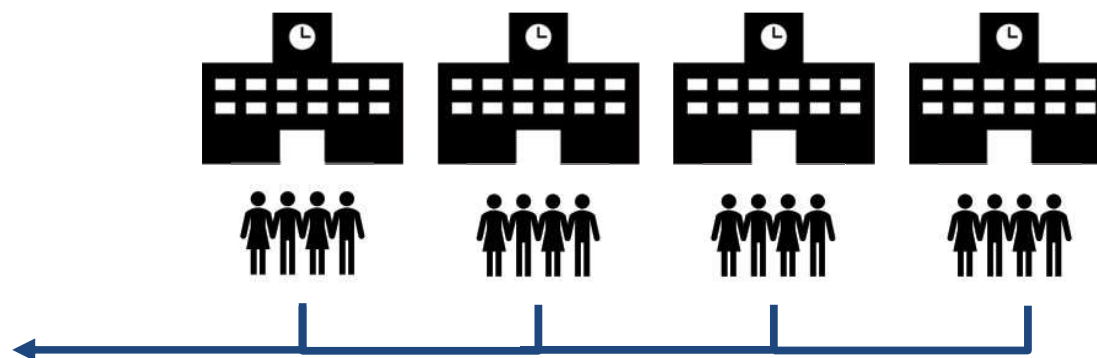
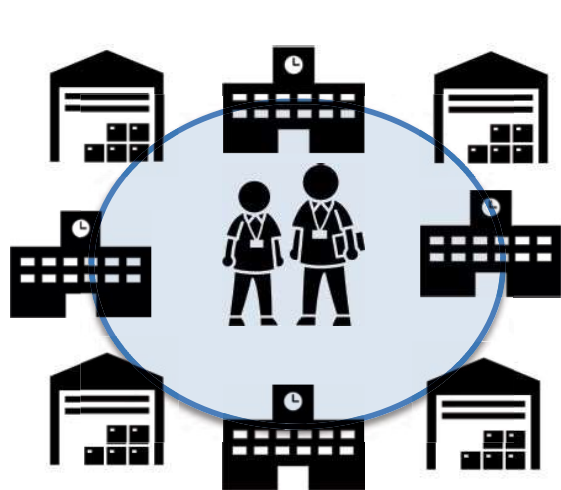
## 剣道部/吹奏楽部



参加生徒：各校生徒 / 活動場所：各校持ち回り

## 合同部活動の実施

ダンス・プログラミング



参加生徒：各校 希望する生徒

活動場所：各校 もしくは 社会体育施設

部活動に入っていない生徒や普段は別の種目の部活動に加入している生徒、また部活動にない種目を用意することで、単なる部活動のスライド型ではなく、生徒のスポーツ環境の整備として様々なニーズに応える多様な運動・スポーツ活動を実現。

令和4年度、白岡市では10部活動（運動部9、文化部1）と合同部活動（ダンス/プログラミング 等）を実施。**白岡市内の地域人材のみならず近隣の地域指導者とも連携**し、指導者は白岡市の人材バンク「白岡市ペアーズバンク」に登録の上、地域クラブ活動の指導に当たっている。

## 白岡市地域クラブ活動指導者： **22名**

（運動部・文化部・合同部活動）

（R4.12月現在）

### 【指導者属性 一例】

\* 白岡市内の指導者は5名

| 部活動       | 拠点    | 備考                                   |
|-----------|-------|--------------------------------------|
| ソフトテニス部   | 白岡市   | 既存外部コーチ                              |
| バスケットボール部 | さいたま市 | 元プロバスケットボール選手<br>（仙台89ERS 他）         |
| ソフトテニス部   | 久喜市   | 彩テニスクラブコーチ                           |
| ソフトボール部   | 上尾市   | 元実業団チーム<br>（NECプラットフォームズRed Falcons） |
| 陸上部       | 桶川市   | 日本代表/実業団選手等への指導歴あり                   |
| 卓球部       | さいたま市 | 高校総体/全日本選手権等 出場経験あり                  |

## 地域クラブ活動（バスケットボール）



## 合同部活動（ダンス）



白岡市では今年度、外部からの財源確保の新たな取り組みとして、**ガバメントクラウドファンディング**を実施。合計**約50万円の寄付金**が集まった。地域をあげて、今後は更なるチャレンジが必要。

ふるさとチョイス  
ガバメントクラウドファンディング®

寄付募集期間：2022年8月1日～2022年10月29日（90日間）

## みんなが喜ぶ部活動を目指して | 中学校地域部活動の取組を応援してください！

カテゴリー：子ども・教育



温かいご支援をありがとうございました



この度は、多くの皆様から温かいご寄附を頂き、誠にありがとうございました。

ご支援いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

### 埼玉県白岡市



皆様から頂いた寄附金は、地域部活動推進事業を通じて、

- ①地域部活動指導者に対する謝金
- ②生徒や指導者に係る保険料金
- ③施設利用に係る利用料金
- ④各活動に必要な用具等の整備として活用させていただきます。

#### 【募集結果】

|           |     |          |
|-----------|-----|----------|
| チョイスからの寄附 | 30名 | 349,000円 |
| 市への直接寄附   | 14名 | 150,000円 |
| 合計        | 44名 | 499,000円 |

02

## 学校部活動の地域移行に関する記事

(参考)

## 記事

## 室伏氏、県内中学を視察 糸満・あげな

## 民間指導者派遣で先行例

部活の  
カタチ

2023年度に全国の中学・高校で部活動改革を始める

スポーツ庁の室伏広治長官は2月23日、民間人材を部活指導者として登用する先行事例として、うるま市と糸満市を視察した。

休日や祝日も部活指導に当たる教員の負担軽減などを目的に、同庁は民間人材の登用や休日に地域住民も参加できる「地域部活動」への移行を計画している。

両市は同庁の地域運動部活動推進事業を受託。スポーツデータバンク沖縄を通じ、元プロ選手など各競技を専門にする人材を部活に派遣している。

室伏長官は糸満中のソフト



外部指導者が派遣されているあげな中女子バレー部を視察するスポーツ庁の室伏広治長官（左から2人目）＝うるま市の同校（スポーツデータバンク沖縄提供）

テニス部とバドミントン部、あげな中の女子バレー部を視察。あげな中では実際の部活動の様子を見学し、「外部の先生はとうですか」と部員から状況を聞き取っていた。

視察後は「バレー専門の人が指導しているので、選手も真剣で強そうだなと感じた。素晴らしい成績を出してくれると思う。全国で改革を進めたい」と話した。



## 記事

## 部活「地域移行」へ官民連携 うるま市

## 3者で協定、県内初

【うるま】うるま市とスポーツデータバンク沖縄、三井住友海上火災保険が9月29日、市内公立中学校の部活動を地域のスポーツクラブや民間事業者に委ねる「地域移行」へ向けた連携協定を結んだ。三井住友海上火災保険が開発した「eラーニング」により、部活動の外部指導者がけが予防といった、指導に不可欠な能力について学び、認証を受ける。部活動の地域移行へ向けて官民が連携協定を結ぶのは県内初。

スポーツ庁は5月末の有識者会議で部活動を地域移行すべきだと提言し、2023年度から3年間で「改革集中期間」を設定した。

うるま市の中学校では地域移行へ向けた取り組みとして、2017年から現在までに外部指導者

を市内30の中学校に約40人を配置している。現在は外部指導員の指導中に生徒がけがを負った場合でも学校側に責任があるが、今後は責任の所在が外部指導者やクラブなどになる。協定ではeラーニングを今年10月から導入するほか、アスリート



部活動の地域移行へ向けた連携協定を結んだ（左から）スポーツデータバンク沖縄の石塚大輔社長、うるま市の嘉手苅弘美教育長、三井住友海上火災保険の中野昇沖縄支店長＝9月29日、うるま市役所

による中学生や指導員への講習、スポーツ安全保険の普及推進などを予定している。指導者

の質を担保するほか、現在部活動の指導に当たる学校教員の負担軽減が期待される。（古川峻）

## 記事

外部指導員（中央）から指導を受ける卓球部の中学生＝6月、うるま市立あげな中



## 財源確保に企業版ふるさと納税活用

## 地元のプロを指導者に

## 謝金時給3千円支給

公立中学校の運動部活動などの運営を地域団体に移行する「部活動改革」で、うるま市の先進的な取り組みが注目を集めている。地元プロスポーツチームと連携した指導者の登用や、財源確保に向けた「企業版ふるさと納税」の活用だ。今後各自自治体が直面するであろう課題に対し、5年前から向き合ってきた成果が一つのモデルケースになるかもしれない。

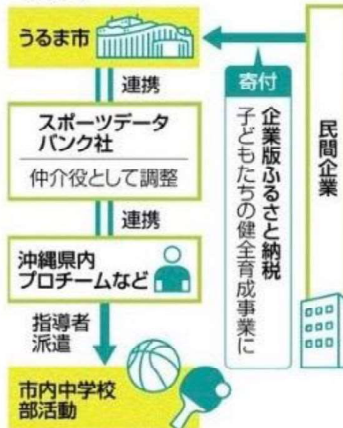
「常に同じポイントで打とう」「さあ打ったら元の場所に戻って」。うるま市立あげな中の男女卓球部では週2日、プロ卓球チーム「琉球アスティーダ」のアカデミーでコーチを務める長田晟さんが指導に当たる。

40人以上いる教諭の半分が残業70時間を超えていた同校は、2022年度からバドミントンやサッカーなど計6競技で外部指導員に依頼。島袋勝範校長は「願

問には未経験者もあり、どう教えたらいいか分からないう心理的負担もあった。解決の一助になる」と語る。橋渡し役となったのが指導者の人材バンク設置など部活動の地域移行を全国で推進する「スポーツデータバンク社」だ。17年からうるま市と連携し、市内2校で始まった事業は現在、離島を除いた9校で導入。バスケトボール部にはBリーグ1部の琉球でプレーした元選手も派遣。スポーツ庁の有識者会議で委員を務めた石塚大輔社長は「質の高い適切な指導が受けられるのは子どもにとって大きい」と話す。

実施校が増えるにあたって重くのしかかったのが指導者への謝金だ。「指導の質」を重視するうるま市では一般的に外部指導員の2

## 企業版ふるさと納税を活用する仕組み

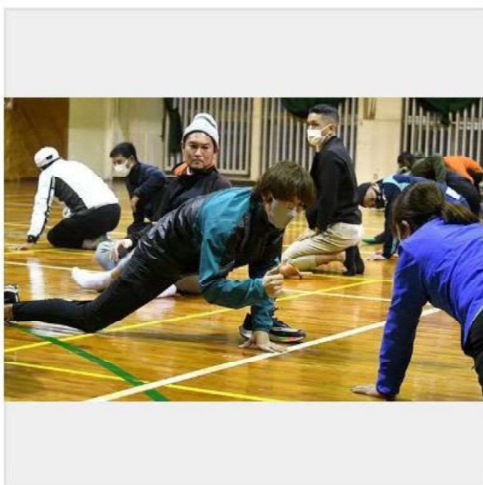


## 部活改革うるまに熱視線

## 記事

## 女子マラソン元日本記録保持者・渋井陽子さんが部活指導者に伝授したストレッチ「時代は脱力」 うるま・伊波中で講習会

3/7(火) 12:24 配信



中学校の外部指導者にストレッチを教える渋井陽子さん=2月22日、うるま市

【うるま】女子マラソンで元日本記録保持者の渋井陽子さんが2月22日、うるま市の伊波中学校で、部活の外部指導者らにけが防止のための講習会を開いた。2023年度から段階的に始まる公立中学校の運動部活動の地域移行を前に、外部指導者の質を向上させることが目的。うるま市とスポーツデータバンク沖縄、渋井さんが所属する三井住友海上火災保険が昨年結んだ連携協定の一環として行われた。

沖縄県うるま市は2017年度から、中学校の部活動の指導に元プロ選手ら外部人材を登用している。まだ地域移行が話題になっておらず、教師の働き方改革推進の一環としてだった。結論から言えば外部人材の活用はうまくいっている。教師の負担は軽減され、生徒もレベルの高い指導が受けられる。各校の関心も高く、滑り出しは2校6部活動だったが、今や離島を除く9校28部活動に拡大した。指導する元プロらは4人から25人に増えた。

学校の管理外の活動に生徒を送り出す保護者が不安を抱かないよう、新しい制度も取り入れた。三井住友海上火災保険による部活動指導者の認証制度だ。オンライン研修でメンタルヘルスやけが防止の知識を学び、確認テストの合格者を認証する。安全面に配慮した指導を担保し、部活はあくまで健全育成の手段という軸は揺るがせていない。

## 民の力で費用と人材確保

改革がスムーズだったのは、教育委員会の内部で抱え込まなかったから。教育委員会は企業とのつながりやお金を集めるノウハウがなく、部活の地域移行に単独で対処しきれない。事業の立ち上げから政策企画や経済担当の部署に参加してもらったのはそのためだ。

今後は費用負担の問題がクローズアップされるはずだ。指導を外部に委ねるのは塾と同じ。うるま市は元プロに時給3000円を支給している。現状ではスポーツ庁の助成を受けるなど家庭の負担はないが、今後は頭の痛い問題になる。

外部人材活用に伴う負担軽減策に企業版ふるさと納

### 沖縄県うるま市教育長 嘉手苺 弘美氏

税を活用している。返礼品はないが社会貢献をPRできるとあって、21年度は県外企業から1500万円が集まった。教育委員会からは出てこなかった発想だ。

民間とのパートナーシップの重要性を痛感している。生徒と反りの合う指導者を呼び込むといったマッチング業務も行政の手に余る。うるま市は部活動の地域移行を推進する企業と連携しているが、こうした助けがないと未来を描けない。商工会など地域の人も巻き込んで行政でもなく学校でもない、今までとは違う枠組みを整える必要があるのではないか。

(聞き手は奈良部光則)



かてがる・ひろみ うるま市などの小学校長を歴任。定年退職後、ひとり親を支援する事業所のトップを経て2018年から現職



## 記事



岩崎コーチの指導を食い入るように見つめる日野市立平山中学校の卓球部員たち  
(WEDGE)

3月中旬の土曜日、小誌記者が訪れた東京都日野市立平山中学校の体育館では、25人の卓球部員が汗を流していた。同部では卓球未経験者の顧問教員を補完する形で、2022年度から日野自動車卓球部の岩崎栄光コーチが週2回実技指導をしている。1年間専門的な指導を受けてきた冒頭の生徒の言葉には、成長の足跡が刻まれていた。

日野市では23年度から、地域部活動の取り組み「ひのスポ」が本格的にスタートする。卓球は平山中を拠点に、希望すれば市内の中学生全員が参加できる形になる。阿部啓介校長は「生徒にとっては学校外に開いて活動できる貴重な機会。『ひのスポ』が生徒や地域のニーズに根差した取り組みになることを期待したい」と話す。

冒頭の日野市のほか複数の自治体の地域移行を支援するスポーツデータバンク（東京都中央区）には、「何から着手すればいいか」などの相談が多く寄せられている。石塚大輔社長は「まずは地域の現在地を知ることが重要だ。『教員に代わる指導者を見つけないと』という近視眼的な考え方では、持続可能な仕組みはつくれない」と述べ、こう続ける。

「好事例の普及を待っていても、地域事情は異なるので単純に真似できない。3年間の目標期限がなくなったからといって、何もしなくていいわけではない。実態調査や情報収集には着手していくべきだ」

日本部活動学会の初代会長で日本教育実践研究所の長沼豊所長は「10年後は少子化がより深刻化し、学校部活動を成り立たせるのは厳しくなるだろう。部活動改革は、街ぐるみでスポーツ・文化芸術活動の環境を整備するチャンスであり、教育の視点だけではなく街づくりの発想も必要だ。教育委員会任せにするのではなく、首長部局も主体的に考えてほしい」と語る。

各地のキーマンたちによって部活動改革に向けた突破口は示されつつあり、こうした先進的な取り組みの広がりが望まれる。

令和5年4月21日（金）Wedge ONLINE （記事一部抜粋）

## 記事

## 部活動改革の先進地で見えた不安と期待 部員間で何かあったら？

公立中学校の部活動が、学校教育から地域に託されようとしている。背景の一つにあるのは「先生の働き過ぎ」だ。こんなデータがある。

顧問の教員の時間外勤務の平均は平日に2時間49分、休日に1時間29分。顧問でない場合より平日は55分、休日は71分長かった——。埼玉県教育委員会が21年度、さいたま市を除く62市町村から公立中学校を1校ずつ抽出し、調べた結果だ。

実際に負担を減らす手立てになるのだろうか。国が示した指針を受け、埼玉県内でも先進的に移行を始めた自治体がある。



## 実業団の元選手が指導

11月初旬の土曜日の朝。白岡市立南中学校の校庭では、女子ソフトボール部が移行後初めての練習に励んでいた。

「みんな、どんな風にボール持ってる？」。キャッチボールをする生徒たちを集めてこう話しかけたのは地域部活動の指導者、松本風香さん（28）だ。

競技歴は約15年で、実業団でのプレー経験もある。実業団時代についで紹介され、市が休日の部活動の運営を委託する「スポーツデータバンク」（東京都中央区）を通じて派遣された。

部長の渡辺詩音（しおん）さん（2年）は、松本さんの指導を真剣な表情で聞いていた。「最初はどんな先生が来るかわからなかったのが不安が大きかったけれど、専門的な指導でうれしい」

市内の地域部活動は基本的に、平日と同じ校内で行われ、指導者には時給2千円が支払われる。謝礼金の管理を含む運営はスポーツデータバンク社が担い、休日の部活動の責任を負う。

2022年度は既に全4中学校の12の部の移行が決まり、今後も順次拡大予定。市内になかったダンス部も4校合同の地域部活動としてスタートを切った。来年度には4校の全ての文化部、運動部で移行を完了させたい考えた。

**SPORTS DATA BANK**  
Sports Data Bank Group



スポーツデータバンク  
お問い合わせフォームQRコード